

【産業廃棄物処理計画実施状況報告書 問合せ先】

①処理計画実施状況報告書 提出者氏名

日本海建興(株) 代表取締役社長 山田 仁史

②記入者の所属、氏名、連絡先

所 属 : 管理部 総務担当

氏 名 : 横田 将樹

連 絡 先 : 076-431-8002
(電話番号)

メー ル : ym79201@nihonkaikenko.co.jp

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 30日

富山県知事 殿

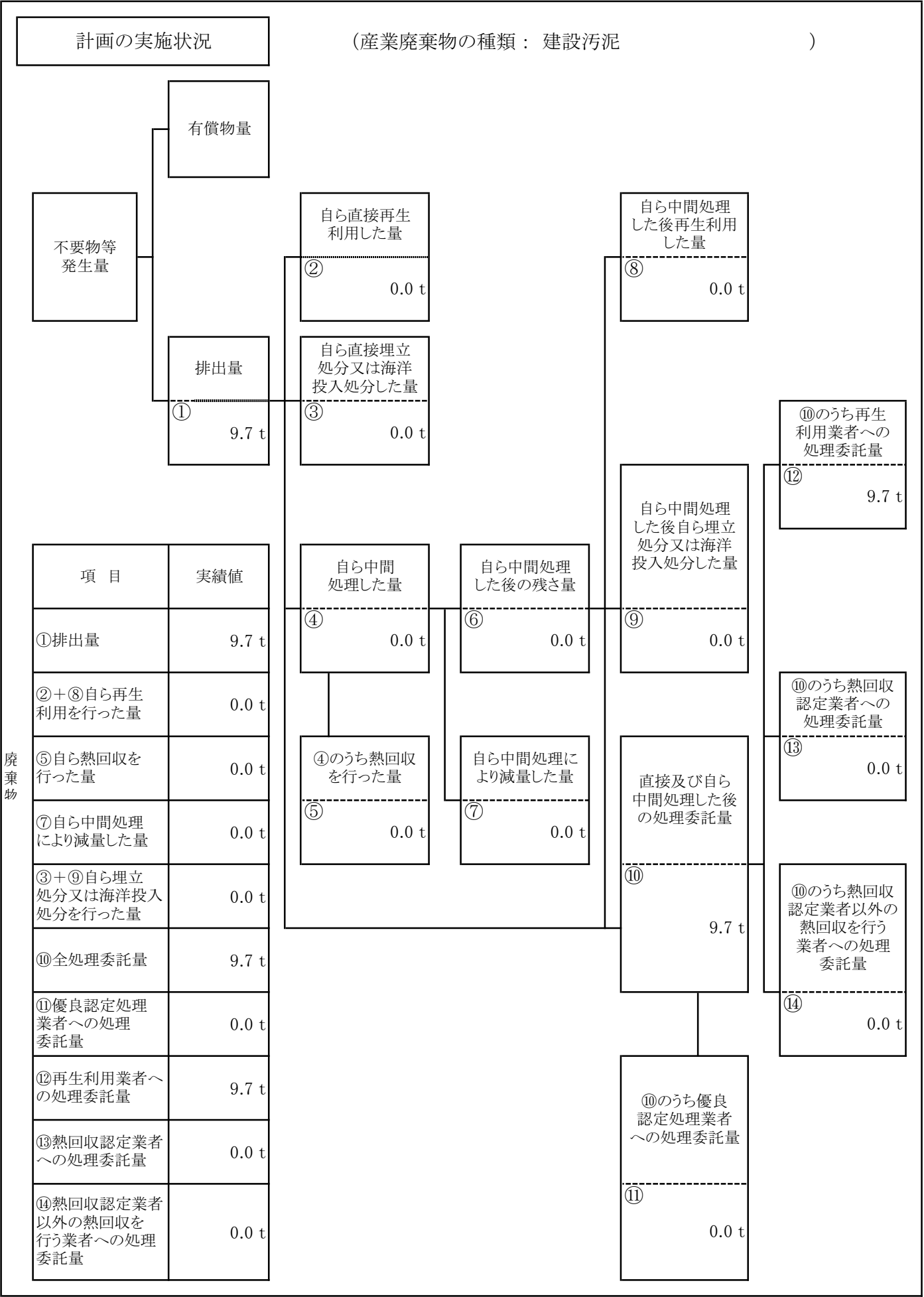
提出者
住 所 富山市牛島町24-6
氏 名 日本海建興株式会社
代表取締役社長 山田 仁史
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 076-431-8001

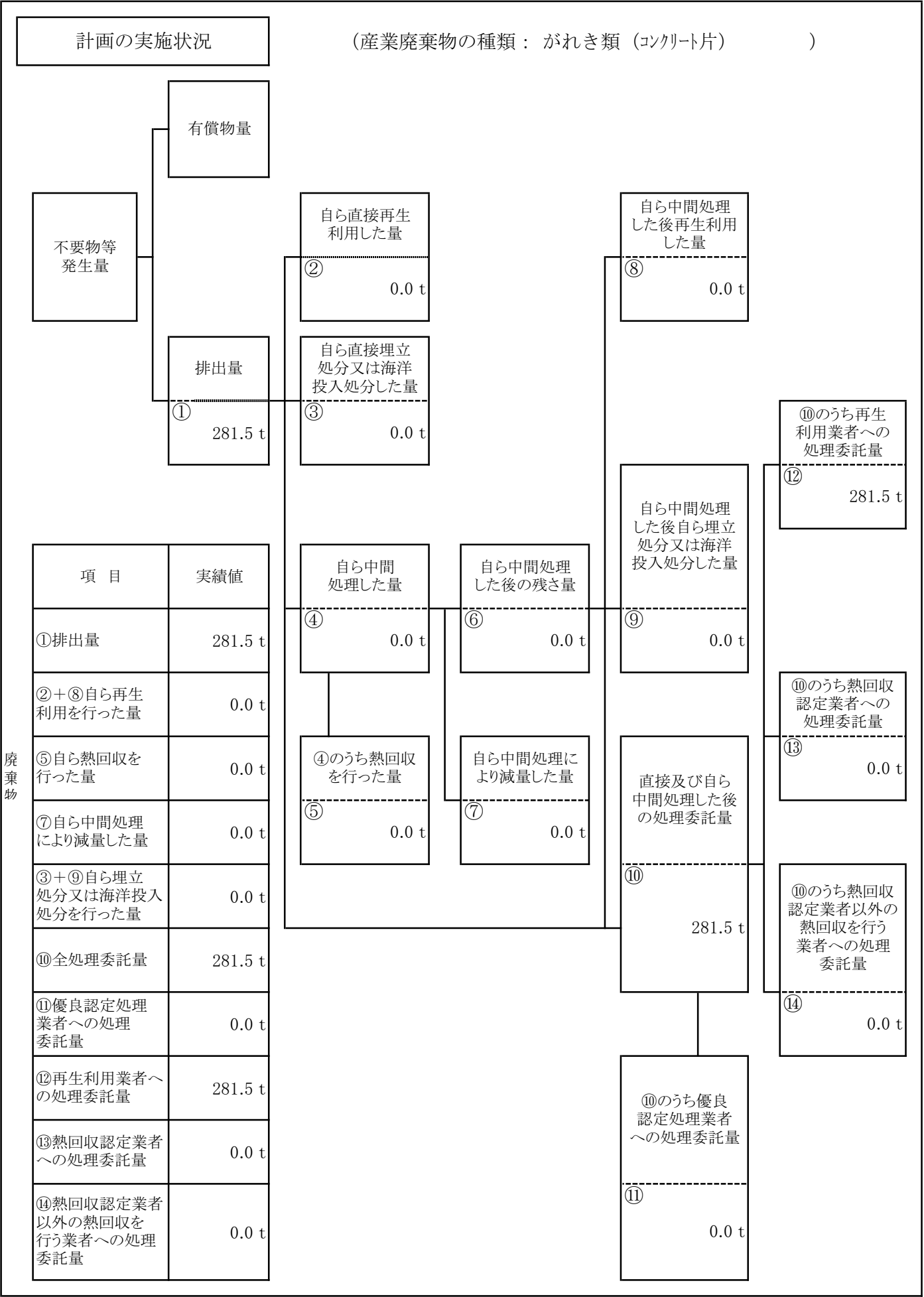
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

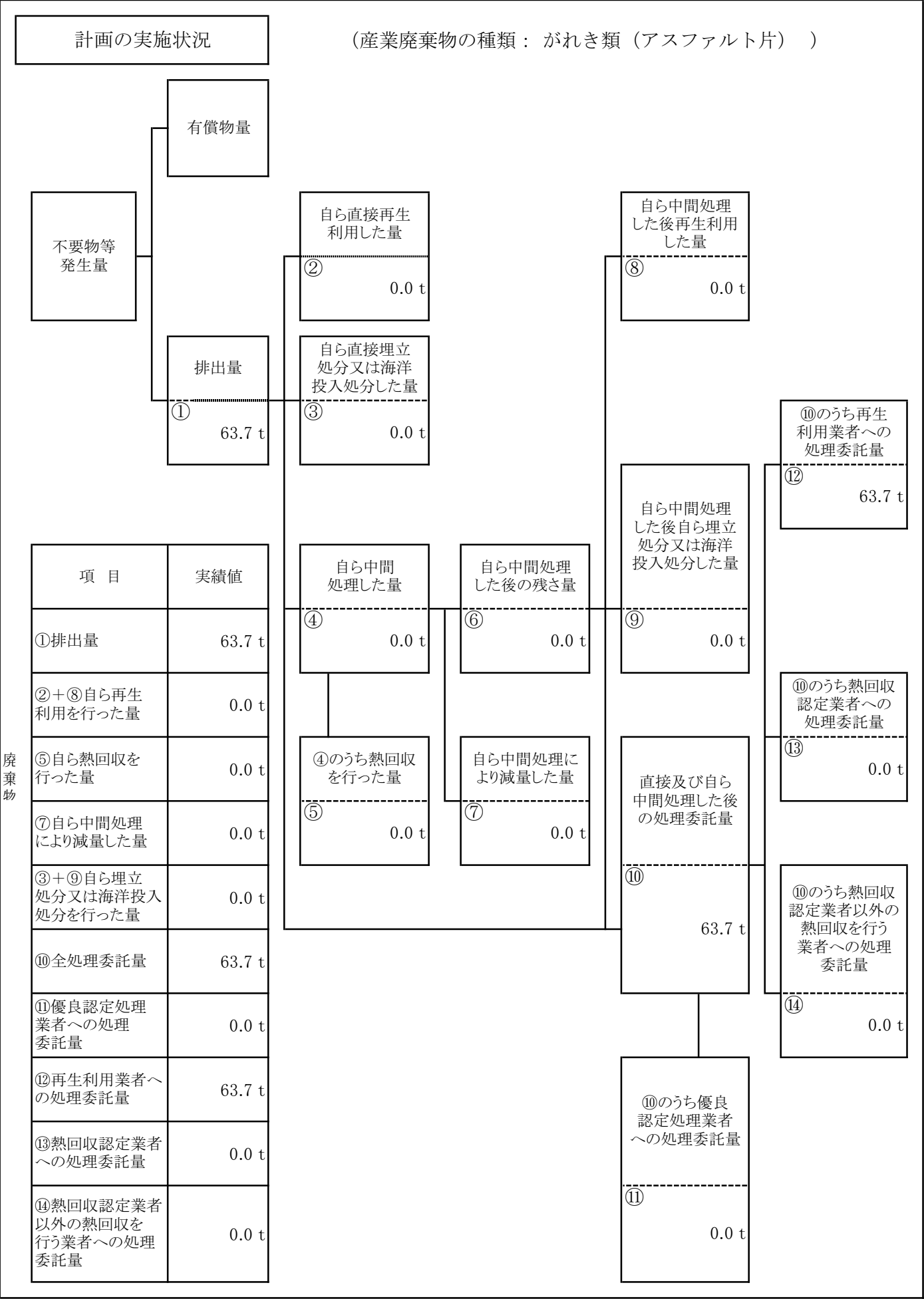
事業場の名称	日本海建興株式会社
事業場の所在地	富山市牛島町24-6
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年 4月 1日 ～ 令和5年 3月 31日

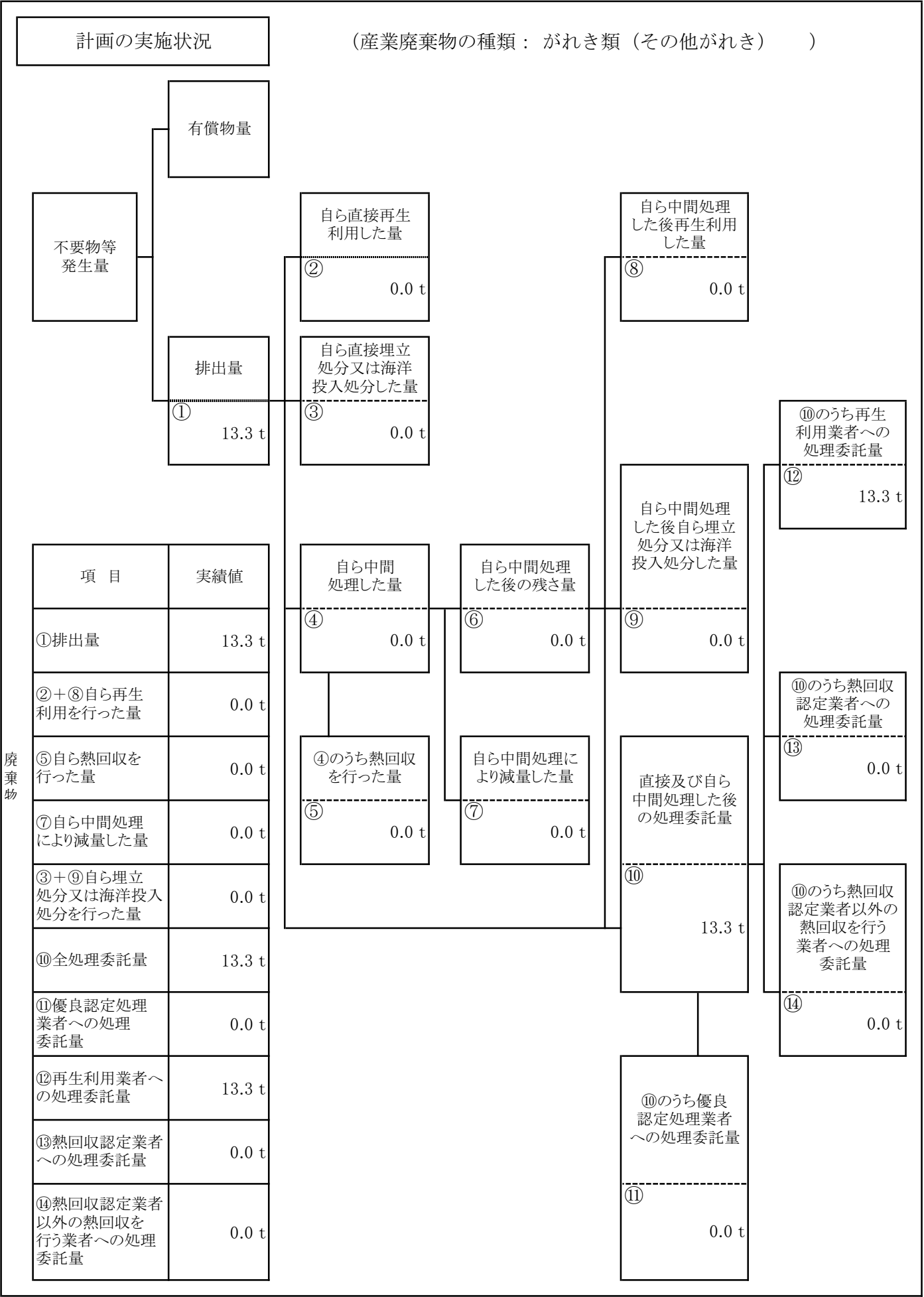
産業廃棄物処理計画における目標値

項 目	目 標 値	項 目	目 標 値
排 出 量	1,090.0 t 内訳：別紙①のとおり	全 処 理 委 託 量	1,090.0 t 内訳：別紙①のとおり
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	優良認定処理業者への処理委託量	－ t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	再生利用業者への処理委託量	1,090.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	認定熱回収業者への処理委託量	－ t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t
※事務処理欄			



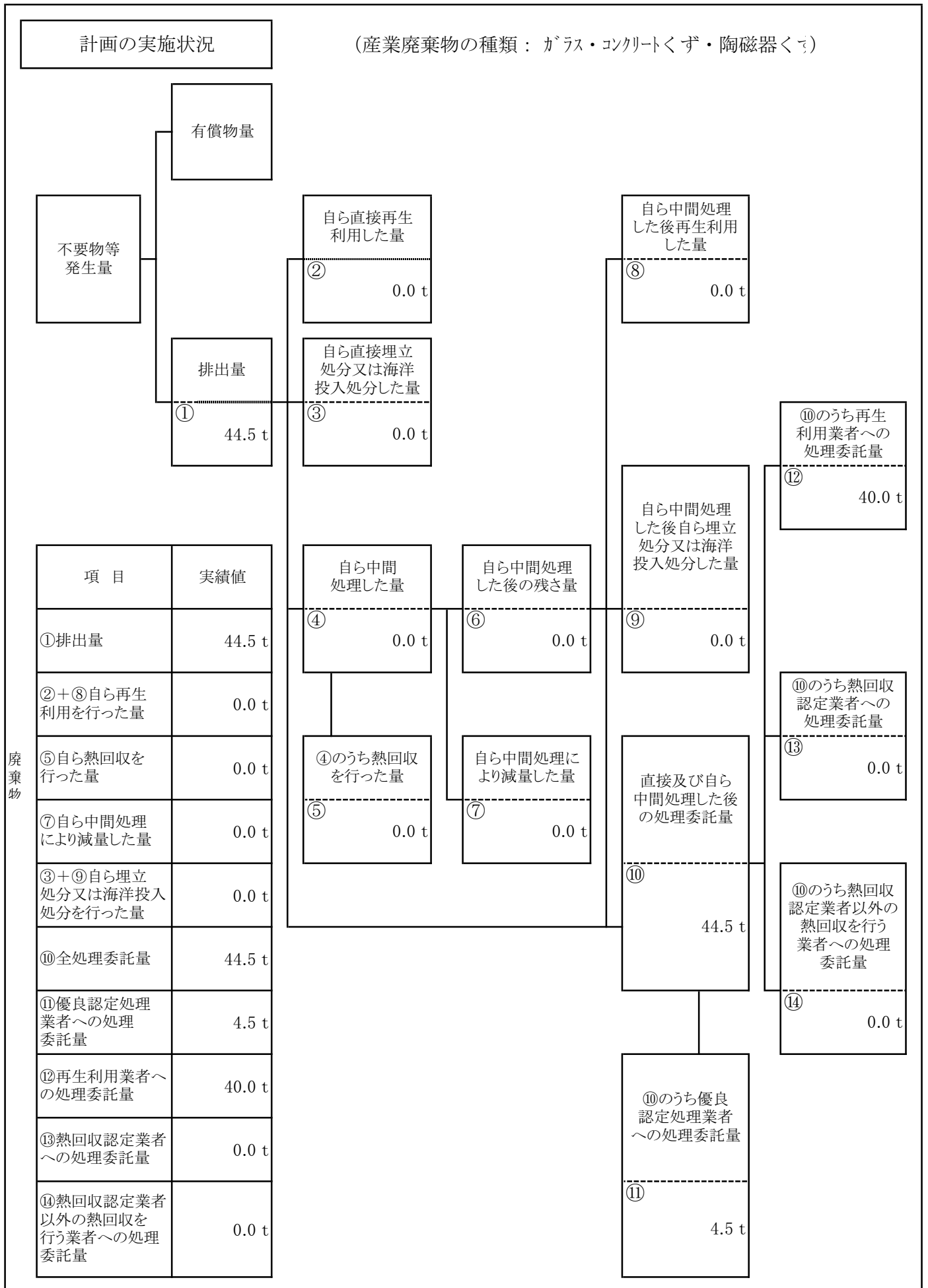


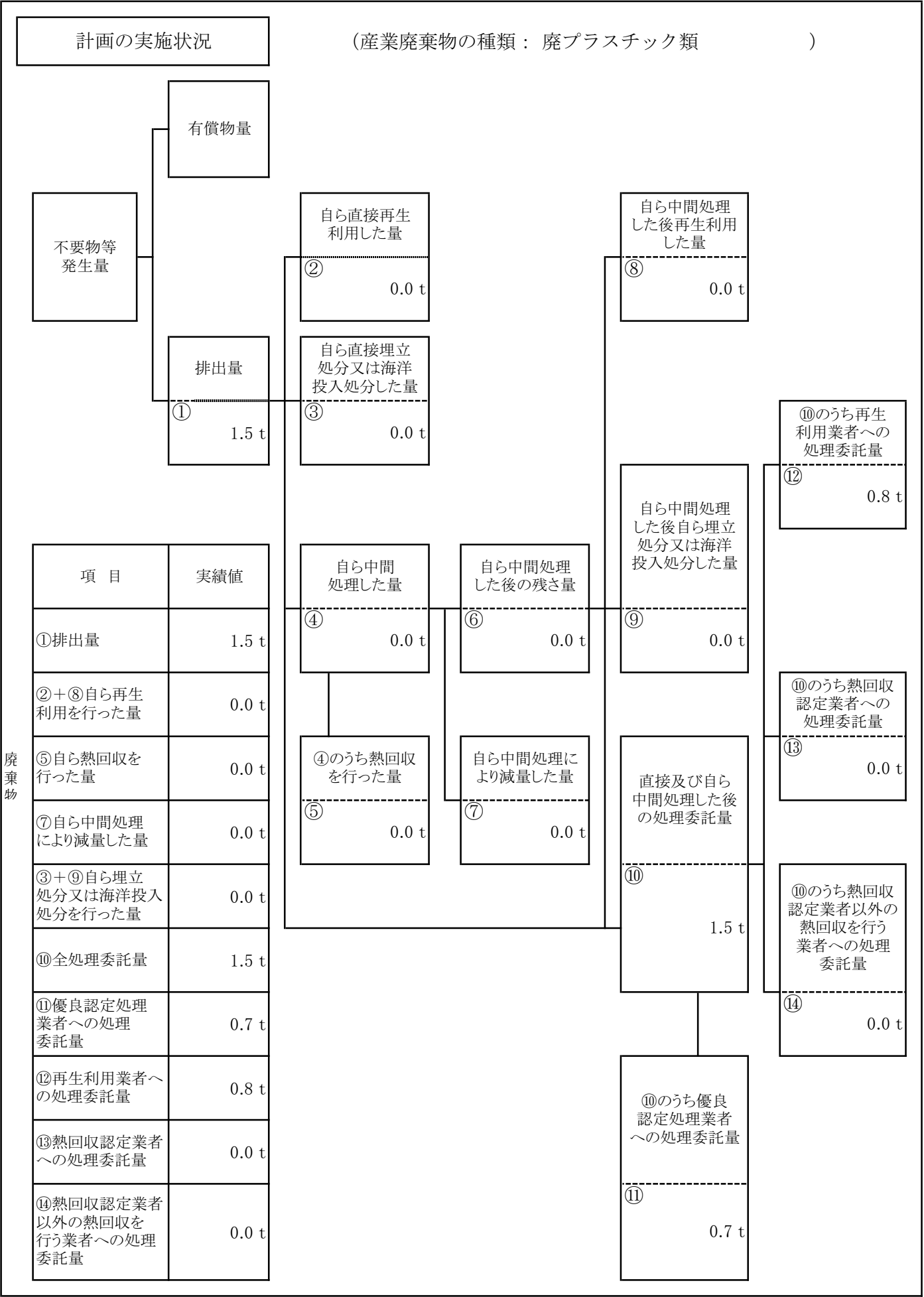


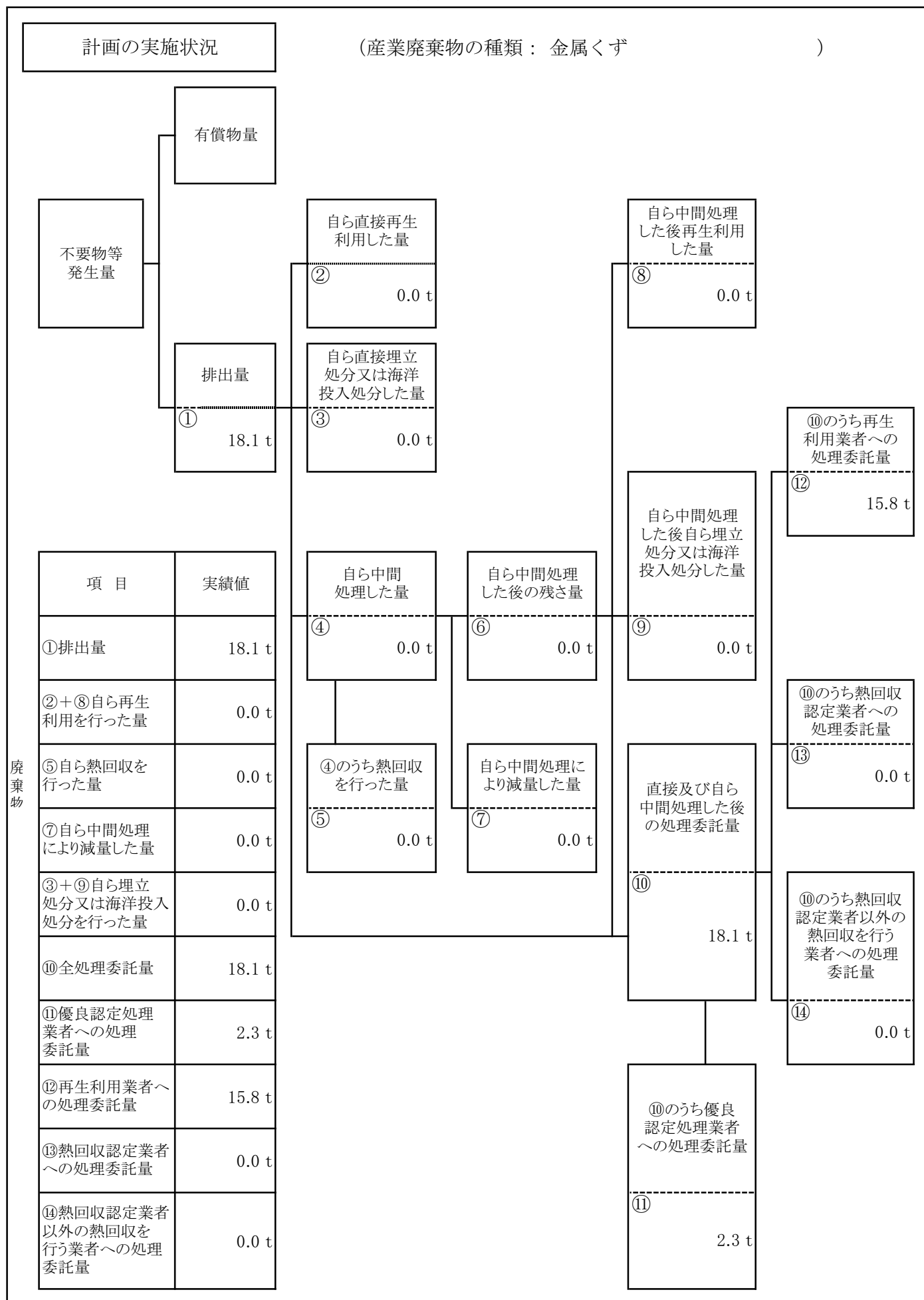


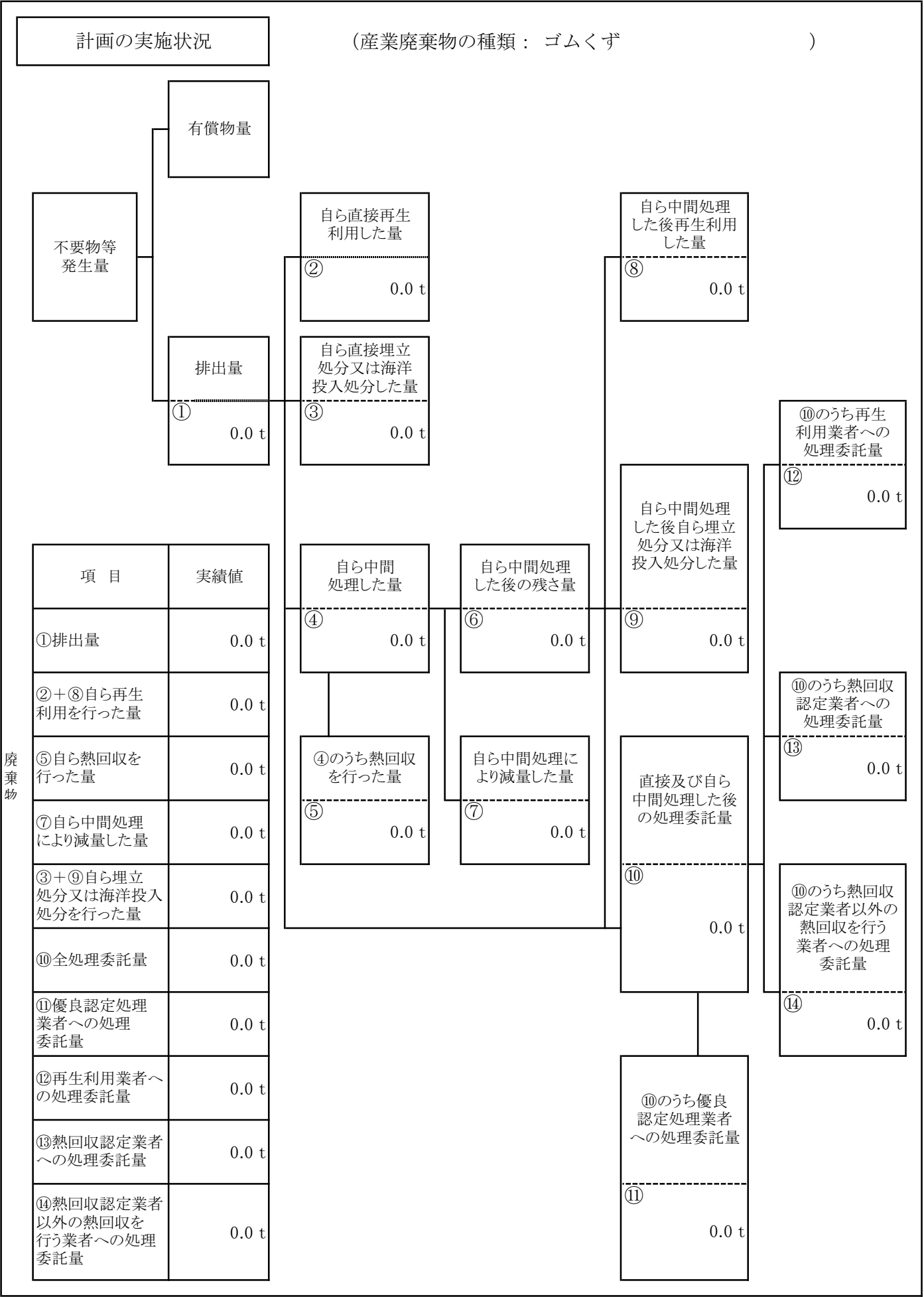
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類： がれき類 (石綿含有))	
不要物等 発生量	有償物量	自ら直接再生 利用した量	② 0.0 t
	排出量	① 0.0 t	自ら直接埋立 処分又は海洋 投入処分した量
			③ 0.0 t
			自ら中間 処理した量
			④ 0.0 t
			自ら中間処理 した後の残さ量
			⑥ 0.0 t
			自ら中間処理 した後再生利用 した量
			⑧ 0.0 t
			⑨ 0.0 t
		⑩のうち再生 利用業者への 処理委託量	
		⑫ 0.0 t	
		⑩のうち熱回収 認定業者への 処理委託量	
		⑬ 0.0 t	
		⑩のうち熱回収 認定業者以外の 熱回収を行う 業者への処理 委託量	
		⑭ 0.0 t	
		⑩のうち優良 認定処理業者 への処理委託量	
		⑪ 0.0 t	

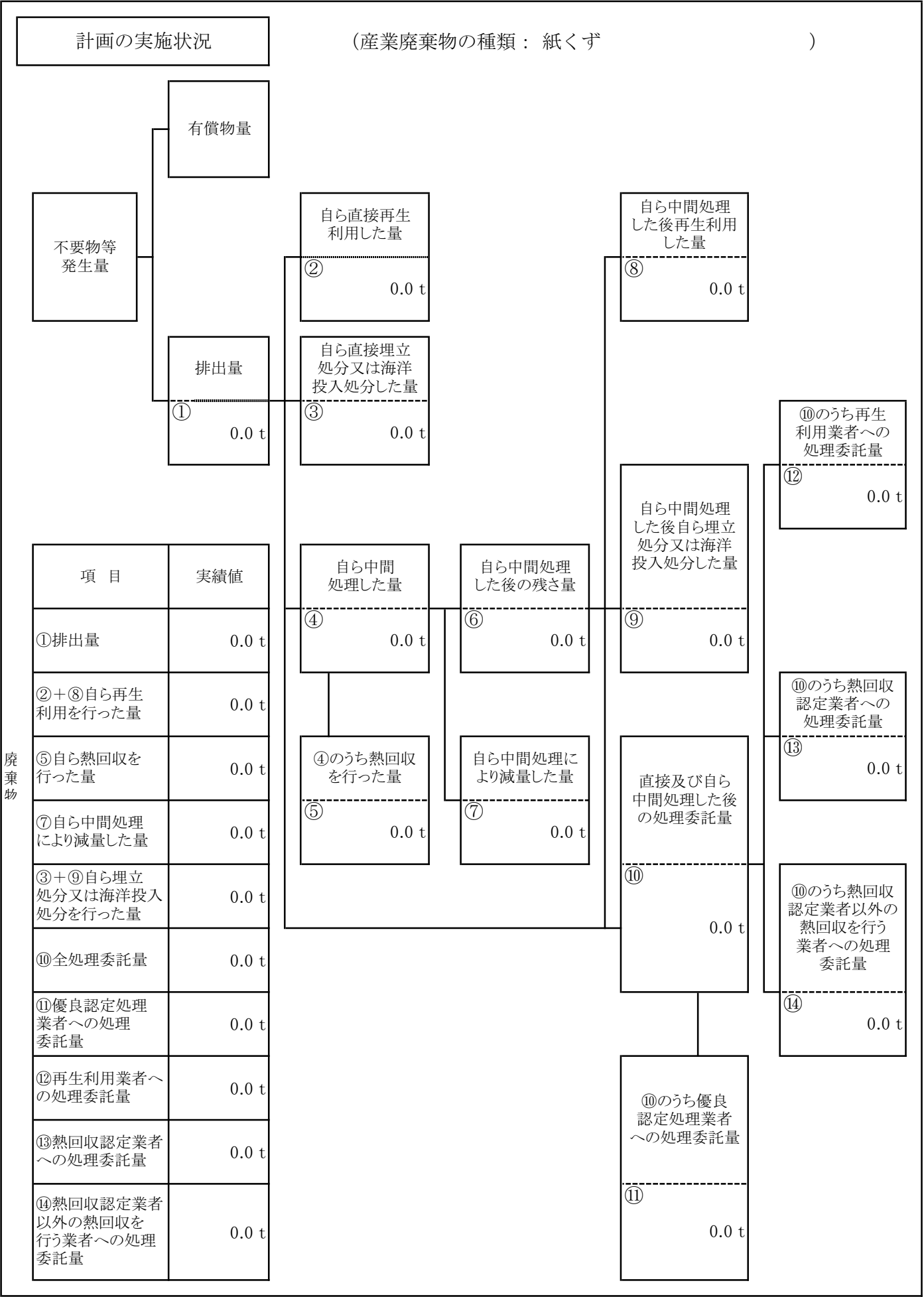
項 目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生 利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を 行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理 により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立 処分又は海洋投入 処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理 業者への処理 委託量	0.0 t
⑫再生利用業者へ の処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者 への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者 以外の熱回収を 行う業者への処理 委託量	0.0 t

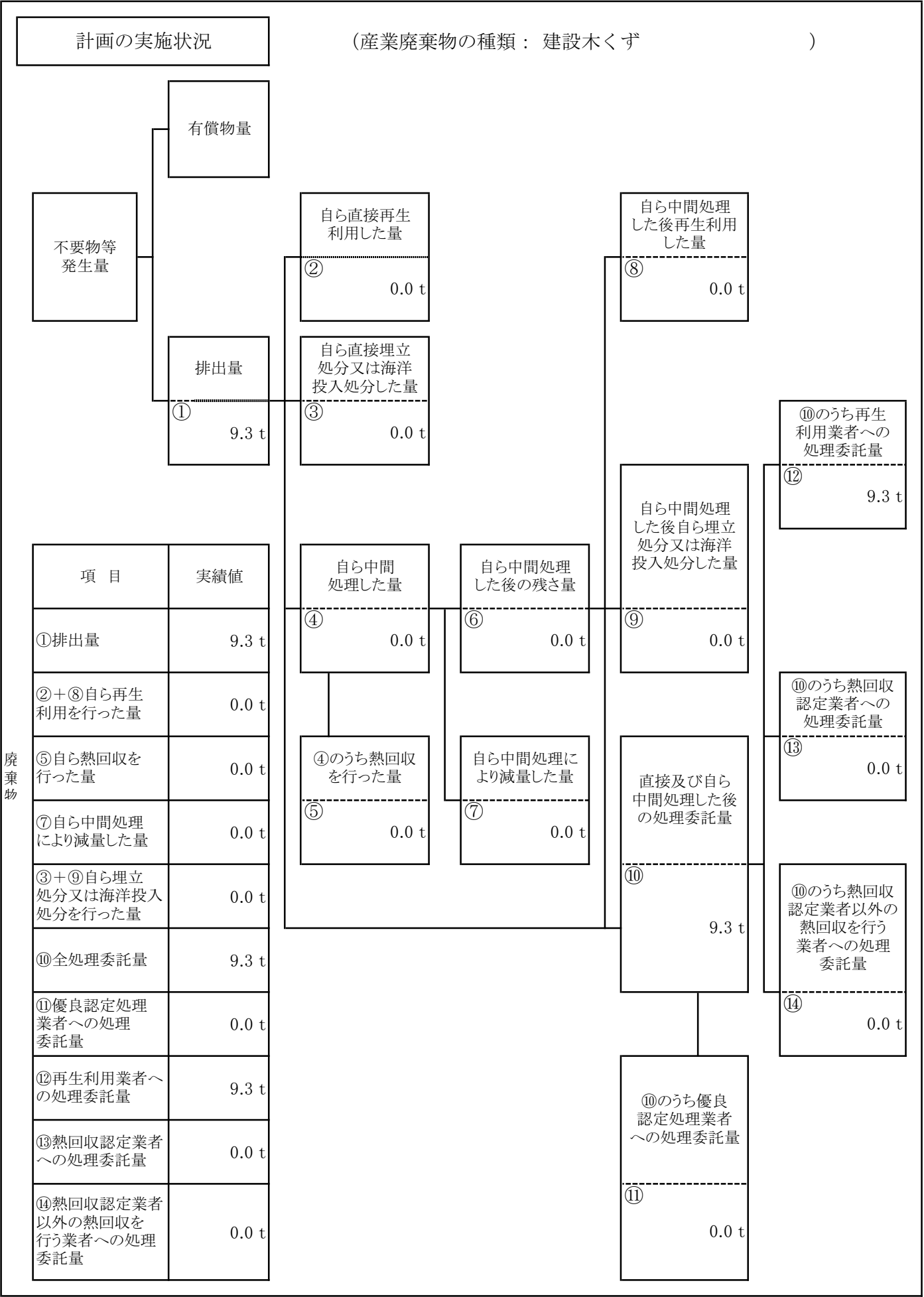


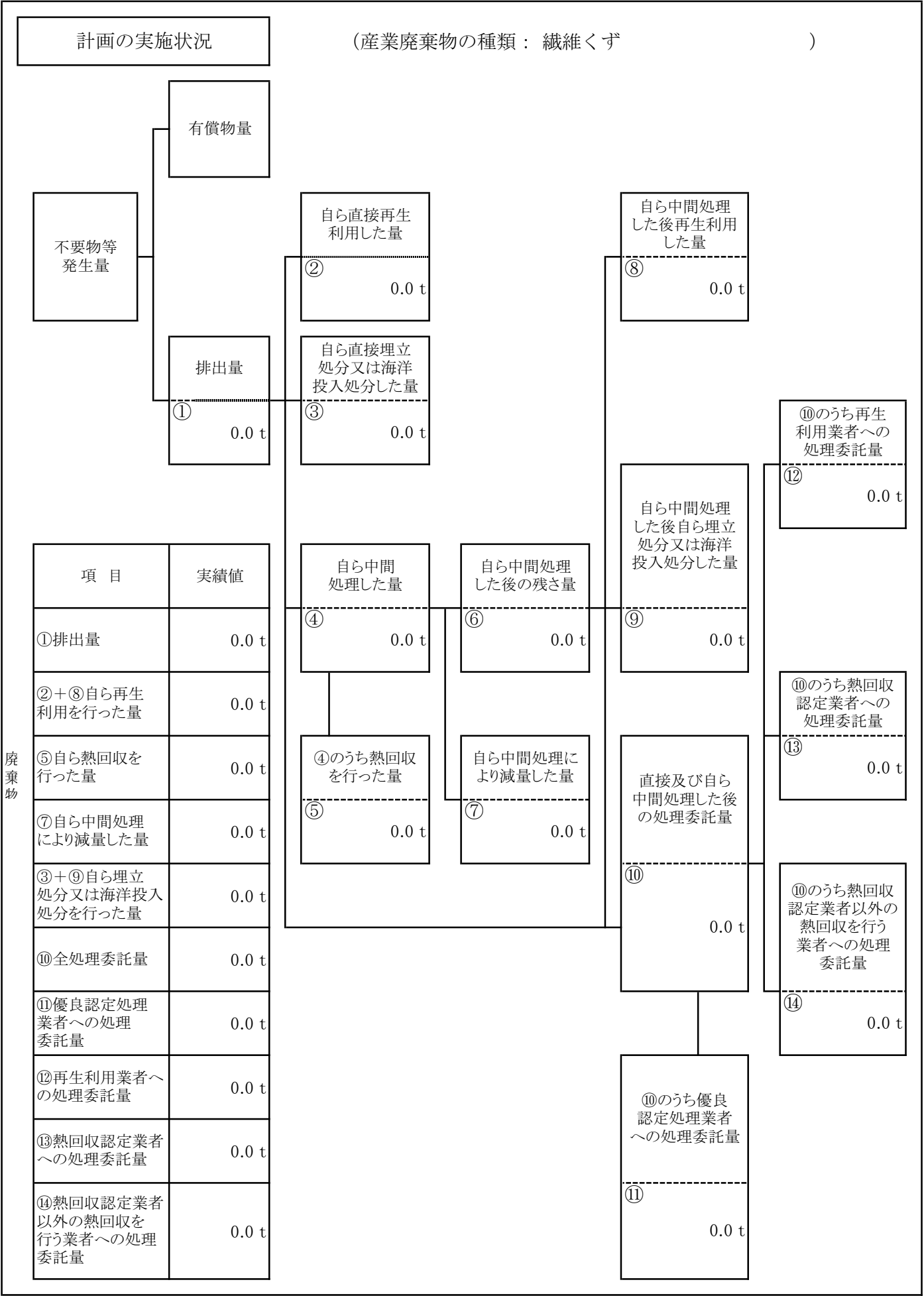


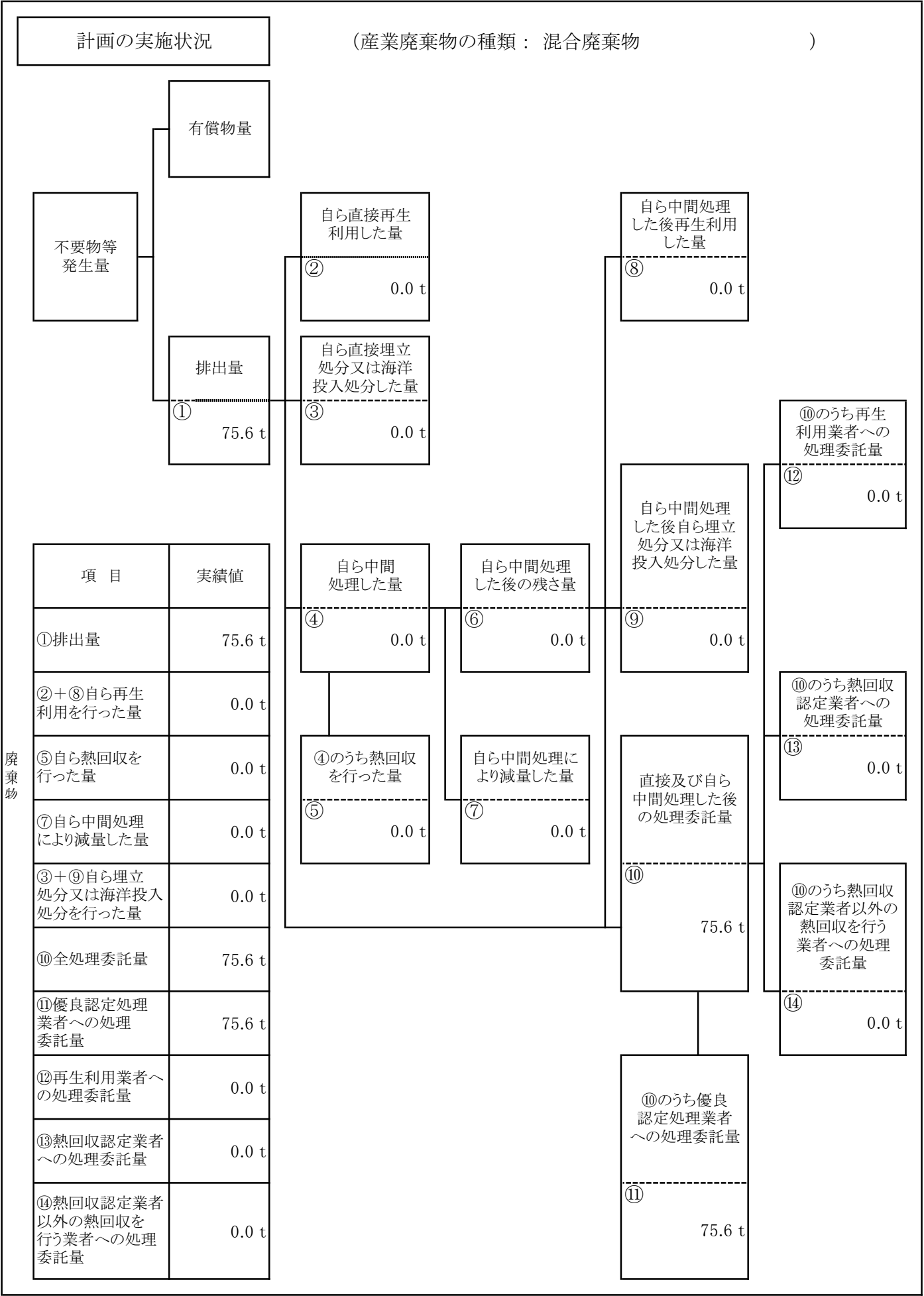












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書（集計用）

別紙①

提出者の名称	日本海建興(株)	提出者の住所	富山市牛島町24-6
事業場の名称	同上	事業場の所在地	同上
内容年度	令和4年度		

富山県内(富山市以外)

(単位:t)

廃棄物の種類		発生量の目標（計画）	（処理委託量） 排出量 A	自社内での処理状況								委託先での処理状況				
				自己中間処理をしない		自己中間処理をする						委託処理量 J	⑩委託処理量のうち委託先毎の量			
				自己再生 利用量 B	処分量 自己最終 （埋立） C	自己中間 処理量 D	熱④の うち 回収量 E	自己中間 処理後 残さ量 F	自己再生 利用量 G	自己最終 処分量 H	自己中間処理 減量化量 I (D-F)		優良認定処理 業者への 処理委託量 K	再生利用業者 への 処理委託量 L	熱回収認定業者 への 処理委託量 M	熱回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者 への処理委託量 N
No.	第2面との対応番号→	①	②	③	④	⑤	⑥	⑧	⑨	⑦	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
1	建設汚泥	3.0	9.7	-	-	-	-	-	-	-	9.7		9.7	-	-	
2	がれき類(コンクリート片)	500.0	281.5	-	-	-	-	-	-	-	281.5		281.5	-	-	
3	がれき類(アスファルト片)	400.0	63.7	-	-	-	-	-	-	-	63.7		63.7	-	-	
4	がれき類(その他がれき)	10.0	13.3	-	-	-	-	-	-	-	13.3		13.3	-	-	
5	がれき類(石綿含有)	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	
6	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	10.0	44.5	-	-	-	-	-	-	-	44.5	4.54	40.0	-	-	
7	廃プラスチック類	1.0	1.5	-	-	-	-	-	-	-	1.5	0.7	0.8	-	-	
8	金属くず	5.0	18.1	-	-	-	-	-	-	-	18.1	2.3	15.8	-	-	
9	ゴムくず	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	
10	紙くず	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	
11	建設木くず	100.0	9.3	-	-	-	-	-	-	-	9.3		9.3	-	-	
12	繊維くず	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	
13	混合廃棄物	60.0	75.6	-	-	-	-	-	-	-	75.6	75.6	-	-	-	
14																
15																
16																
17																
18																
19																
	合 計	1,090.0	517.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	517.2	83.10	434.1	0.0	0.0	

	前年度計画値		1,090.0									1,090.0		1,090.0		
--	--------	--	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	---------	--	---------	--	--